

全火災引報

第 5 7 2 号 令和 4 年 12 月

郵便番号 104-0032

発行元 公益社団法人

東京都中央区八丁堀 4 丁目 13 番 5 号

全国火薬類保安協会

電話 03(3553)8762

発行責任者 川崎 勝樹

www.zenkakyo-ex.or.jp

- **主要行事予定表** ※新型コロナウイルス感染症対策のため、延期、中止の可能性が
あります。
ホームページ等でも随時お知らせします。

開催年月日	主要行事
令和4. 10. ~12.	登録講師研修会（書面方式）
12. 14	第24回会長表彰式
12. 23	甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験（大臣試験） 合格発表
令和5. 2. 28	第34回理事会
3. 15	第21回総会（臨時）
5. 29	第35回理事会
6. 14	第22回総会（定時）、第36回理事会
未定	全国会議、試験事務所長会議
未定	手帳制度研修会

- **産業火薬類の生産、出荷（販売）、在庫量（経済産業省生産動態統計月報）は経済産業省のホームページ中の統計からご覧ください。**

URL https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html#menu5

- **令和 4 年火薬類関係事故について（11月30日までに報告のあったもの）**
総括表（取扱・種類別一覧表）

項目		事故件数		死亡者数		負傷者数	
取扱	種類別	件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産業火薬	2	3	1	1	0-5	0-6
	煙火	1		0		0-1	
	がん具煙火	0		0		0-0	
消費中	産業火薬	3	41	0	0	1-3	1-14
	煙火	28		0		0-9	
	がん具煙火	10		0		0-2	
運搬中	産業火薬	0	0	0	0	0-0	0-0
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0-0	
貯蔵中	産業火薬	0	0	0	0	0-0	0-0
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0-0	
がんろう中	産業火薬	1	1	0	0	0-1	0-1
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0-0	
その他事故	産業火薬	2	2	0	0	1-3	1-3
	煙火	0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0-0	
合計	産業火薬	8	47	1	1	2-12	2-24
	煙火	29		0		0-10	
	がん具煙火	10		0		0-2	

※詳細は、弊協会のホームページをご覧ください。

- **第24回（公社）全国火薬類保安協会会長表彰式（会長表彰受賞者については571号に掲載しています）及び令和4年度火薬類保安経済産業大臣表彰式が、令和4年12月14日にアルカディア市ヶ谷にて執り行われました。受賞された方々は次のとおりです。（敬称略、50音順）**

令和4年度火薬類保安経済産業大臣表彰受賞者

（保安功労者）

氏名	所属
新井 充	国立大学法人東京大学
江連 定利	(有)江連銃砲火薬店
畔柳 秀幸	(有)額田石材
河野 晴行	(公社)日本煙火協会
内藤 幸英	内藤建設(株)
鍋島 道雄	(株)なべしま
西村 公平	(株)西商工事
三澤 博文	第一火薬(株)
三橋 春夫	(一社)日本碎石協会
望月 靖之	日本工機(株)

以上10名

（優良従事者）

氏名	所属
浅野 浩一	(株)林土木
片桐 暲	花菱建材(株)

以上2名

（優良事業所）

事業所名
宇部採石工業(株)
北川物産(株)
(株)斎藤組
中部採石工業(株) 浜北工場
鶴田石材(株) 中山工場
(株)野名組碎石
ハラダ産業(株)
人の森(株) 未来の森を育む部 華巖工場
(株)丸昇石材

以上9事業所

- **景気は、緩やかに持ち直している。**

- 11月の月例経済報告 -

内閣府は24日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「11月の月例経済報告」を提出し、承認された。

（我が国経済の基調判断）

景気は、緩やかに持ち直している。

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

◆ともに守ろう 発破の手順と仲間の命

◆運搬は 子供のように 大切に

- 雇用情勢は、持ち直している。
- 消費者物価は、上昇している。

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(政策の基本的態度)

足下の物価高などの難局を乗り越え、未来に向けて日本経済を持続可能で一段高い成長経路に乗せ、日本経済の再生を図るべく、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(10月28日閣議決定)を迅速かつ着実に実行する。そのため、裏付けとなる令和4年度第2次補正予算の早期成立に全力で取り組む。

今後とも、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を一体的に進める経済財政運営の枠組みを堅持し、民需主導の自律的な成長とデフレからの脱却に向け、経済状況等を注視し、躊躇なく機動的なマクロ経済運営を行っていく。

日本銀行には、経済・物価・金融情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する。